

# くぼみ入りはがき

国立大学法人 筑波技術大学 保健科学部鍼灸学専攻 大沢秀雄

本作品は2015年11月2日～13日に中島郵便局(石川県七尾市)で開催されて「くぼみ入りはがき発行25周年記念展」に展示した切手展作品である。

作品は15リーフの構成となっている。用紙はレターサイズである。

本作品は切手展のために作成したものであり、視覚障害者が合成音声によって読むことが難しい。そこで、本作品の作品解説を以下の筑波技術大学テクノレポートに投稿したので、参照されたい。

大沢秀雄

くぼみ入りはがき — 視覚障害者に配慮した官製はがき —

筑波技術大学テクノレポート23巻2号、108～112、2016

<http://hdl.handle.net/10460/1469>

なお、本PDFファイルは実際に出品した作品を基にPDFファイル用に再構成したものである。

注:暑中見舞はがきの「かもめ～る」は視覚障害者が合成音声で読む際、紛らわしいと思われたので、「かもめーる」と記載した。

# くぼみ入りはがき

点字はフランスの盲人ルイ・ブライユ(1809~52)によって、1825年に考案された(6点式点字)。

日本では1890(明治23)年11月1日、東京盲啞学校教員、石川倉次の考案した日本語の点字が、東京盲啞学校内の点字選定会で採用された。そのため11月1日を「日本点字制定の日」としている。

1990年11月1日、「日本点字制定100周年」の記念切手の発行に合わせて、日本最初の「くぼみ入りはがき」が発行された。

はがきの左下に半円形のくぼみによって視覚障害者は葉書の上下、表裏を識別でき、プリンターなどで印刷する際や印刷されたはがきに点字を添え書きすることが容易になった。

ラジオ番組の中で、視覚障害者からの投書が紹介されたのを聞いた当時の深谷隆司郵政大臣が早速はがきの改善を指示し、発行に至ったと言われている(郵趣ウィークリー1990年第21号)。

年賀はがきでは1991(平成3)年用年賀はがき(1990.11.1発行)より、かもめーる(暑中見舞いはがき)では1995(平成7)年より、くぼみ入りはがきが登場した。

青い鳥はがきには1991(平成3)年より登場し、2001(平成13)年の発行中止までくぼみ入りはがきが発行された。

点字のみが書かれたはがきであれば、点字郵便制度によって無料で送ることができるが、視覚障害者が印刷したはがきや、墨字で書かれたはがきに点字を添え書きした場合、点字郵便制度は適用されない。くぼみ入りはがきは視覚障害者の要望に応えた画期的な郵便はがきであり、視覚障害者に配慮したこのような郵便物は諸外国ではその例を見ない。

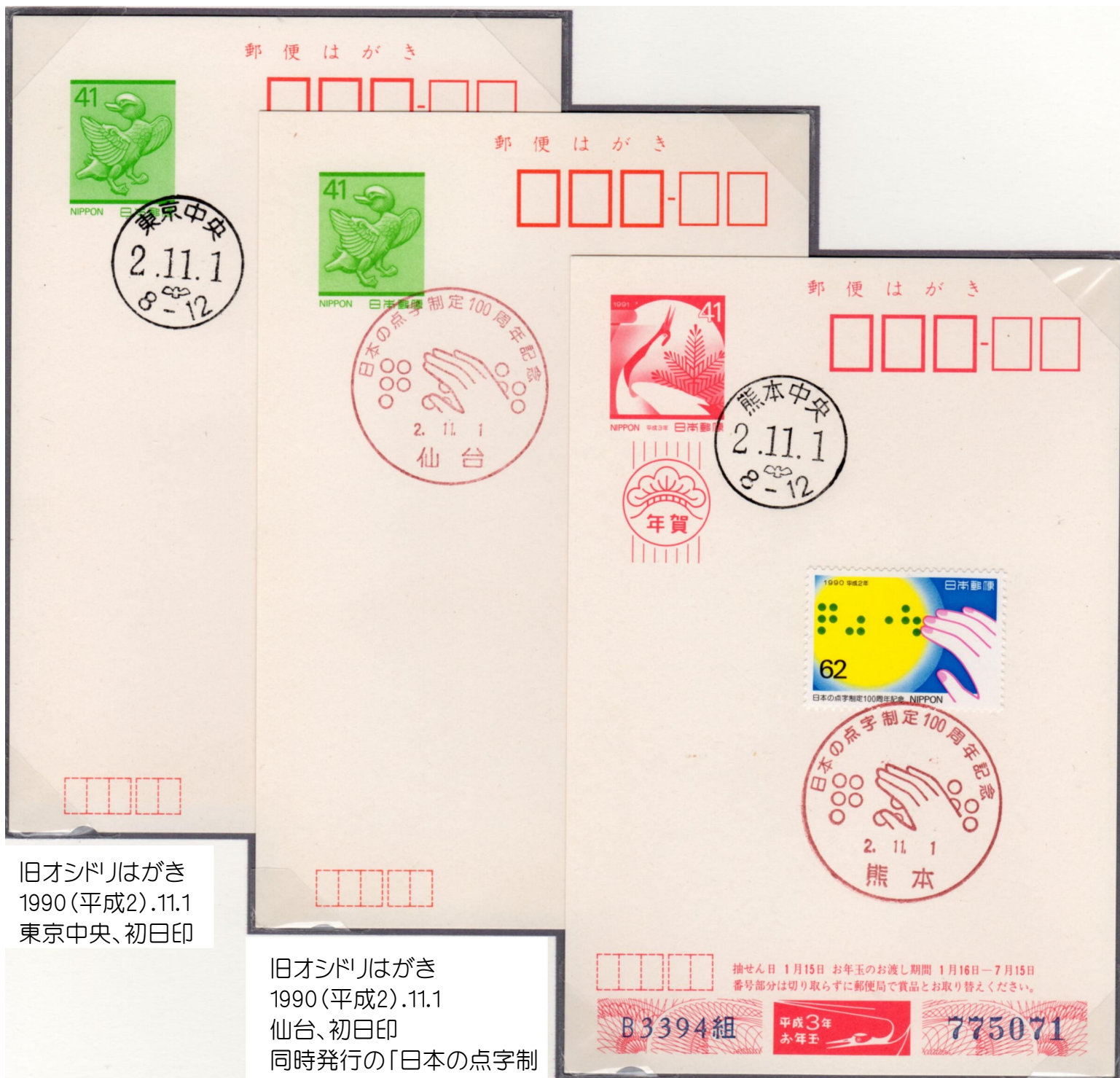
本展示では、主要なくぼみ入りはがきを切手を展示した。

本作品によって、視覚障害や点字に対する理解が高まれば、幸いである。

大沢 秀雄 Hideo Ohsawa, Ph.D  
(国立大学法人 筑波技術大学保健科学部鍼灸学専攻)

最初のくぼみ入りはがき

1990年11月1日に発行された「日本の点字制定100周年」の記念切手発行に合わせて、①通常葉書(旧オシドリはがき)、②平成3年用年賀はがきの2種のくぼみ入りはがきが発行された。



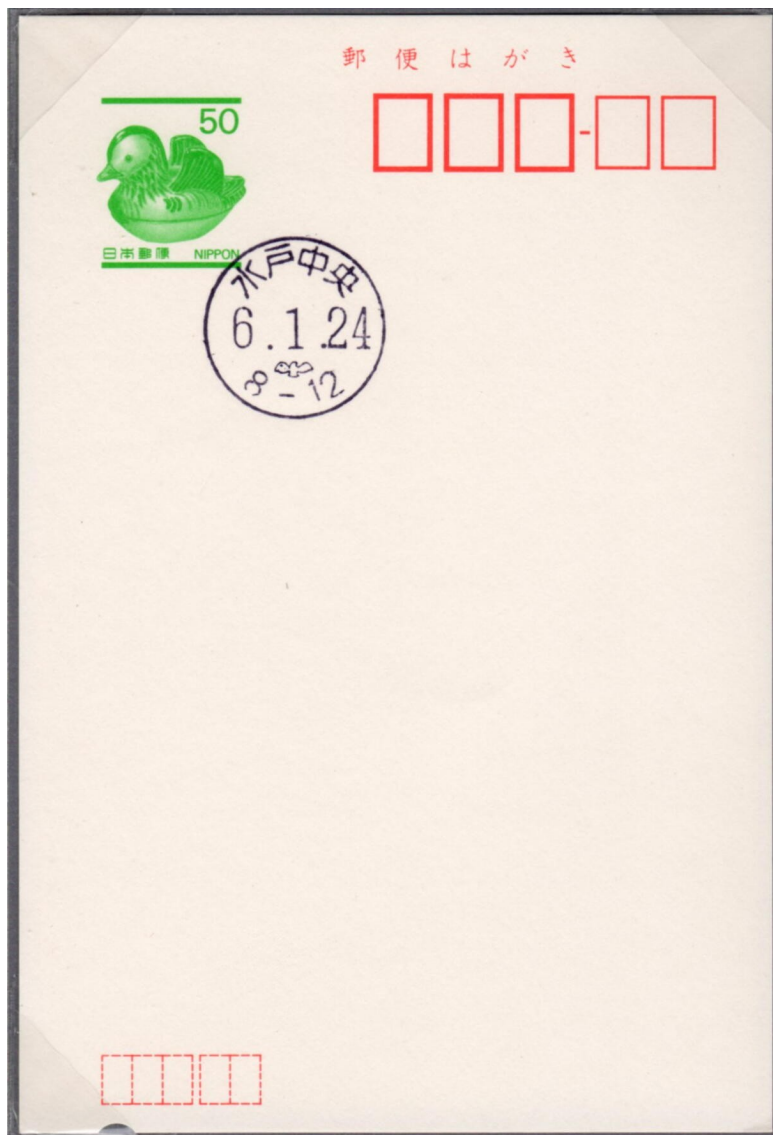
旧オシドリはがき  
1990(平成2).11.1  
東京中央、初日印

旧オシドリはがき  
1990(平成2).11.1  
仙台、初日印  
同時発行の「日本の点字制定100周年」の初日特印

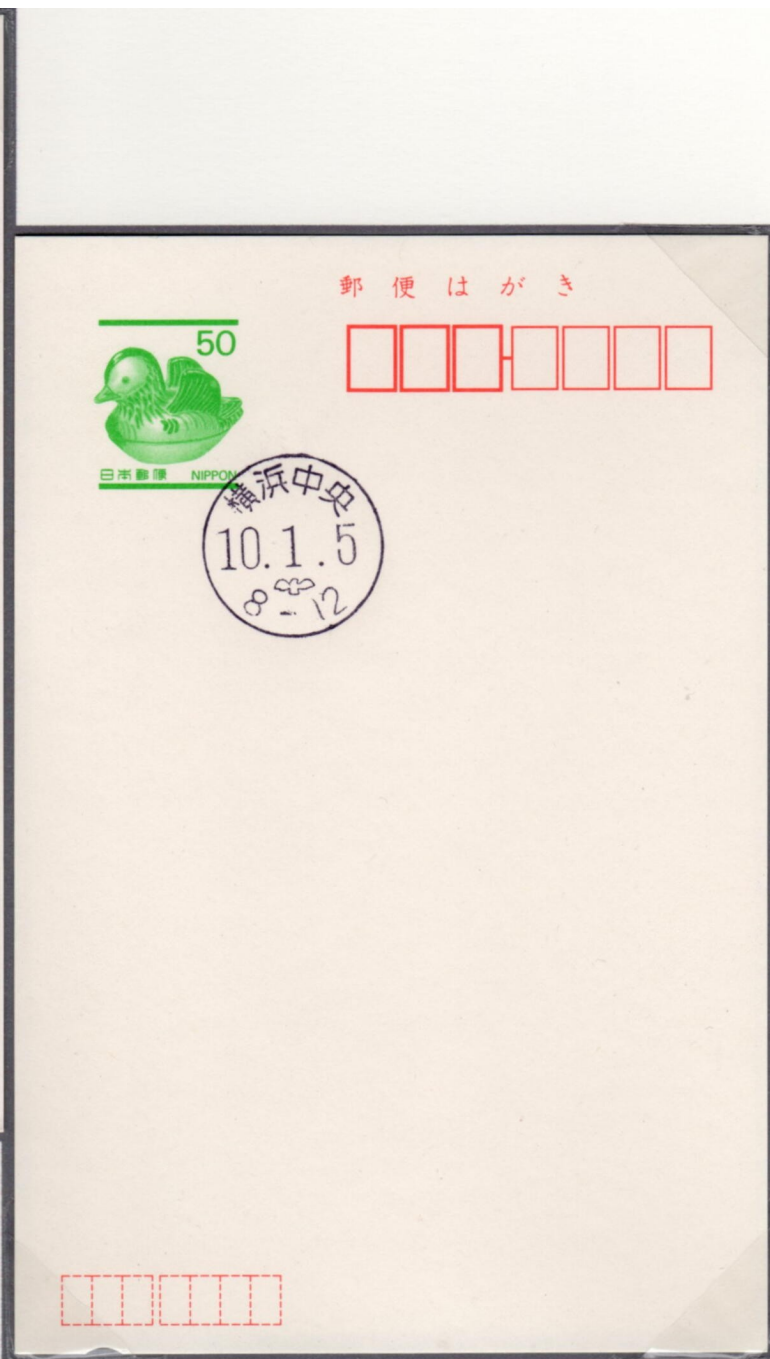
平成3年用年賀はがき、1990(平成2).11.1  
熊本中央、初日印  
同時発行の「日本の点字制定100周年」の記念切手  
とその初日特印が押印されている。

## 新オシドリはがき

1994(平成6)年1月24日からの郵便料金値上げに備え、1月13日に50円新はがきが発行された、くぼみ入りはがきも発行された。1998(平成10)年1月には、郵便番号7桁化を前にして郵便番号7桁のはがきが発行された。



新オシドリ・5ケタ郵便番号はがき  
水戸中央、1994(平成6).1.24  
郵便料金改定日の押印(同日発行の通常  
切手のための和文ハト印を押印)

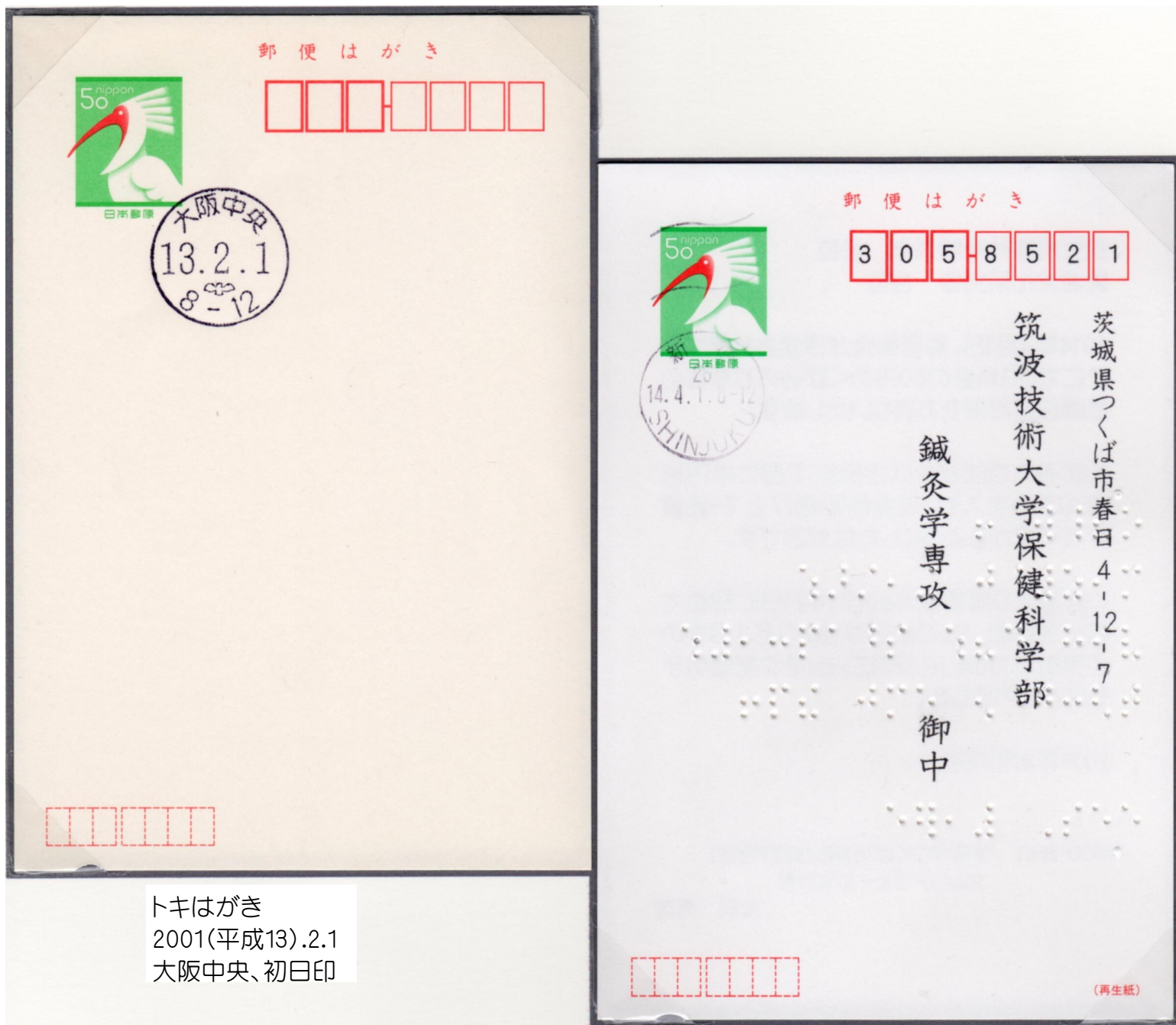


新オシドリ・7ケタ郵便番号はがき  
1998(平成10).1.5  
横浜中央、初日印



## トキはがき

2000(平成12)年8月1日、初めて2色刷りの普通はがきが発行された。2001(平成13)年2月1日にはくぼみ入りはがきも発行された。2007(平成19)年10月1日に民営化に伴い発行されたスズメはがきでは、くぼみ入りはがきが発行されなかったため、2014(平成26)年3月31日まで使用された。

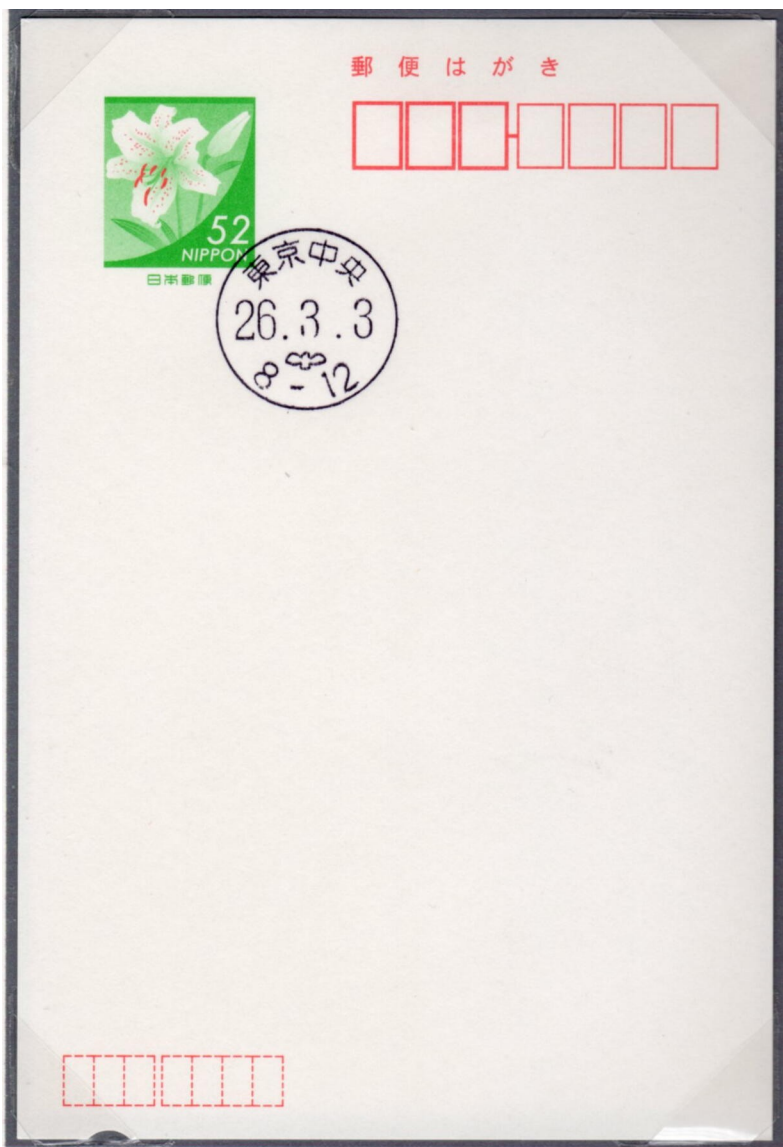


トキはがき  
2001(平成13).2.1  
大阪中央、初日印

トキはがき 最終日(サドル便)・点字使用例  
新宿、2014(平成26).4.1  
(再生紙)の表示:2004(平成16)年2月より

ヤマユリはがき

2014(平成26)年4月1日の消費税値上げに伴う郵便料金値上げに備え、3月3日に52円の新はがきが発行され、くぼみ入りはがきも発行された。



ヤマユリはがき  
2014(平成26).3.3  
東京中央、初日印



くぼみ入りはがき完封  
トキワ印刷製



## 年賀はがき(1)

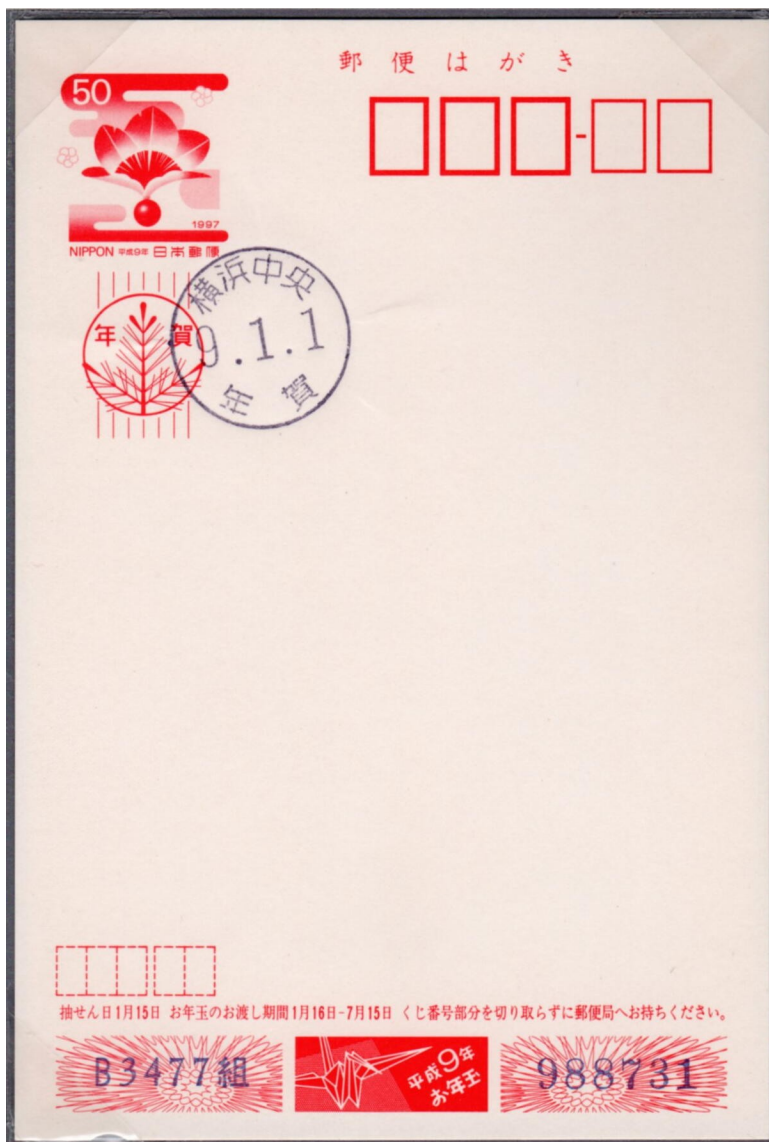
1990年11月1日に発行された「日本の点字制定100周年」の記念切手発行に合わせて、通常葉書(旧オシドリはがき)に加え、平成3年用年賀はがきのくぼみ入りはがきが発行され、以降、現在まで発行が続いている。



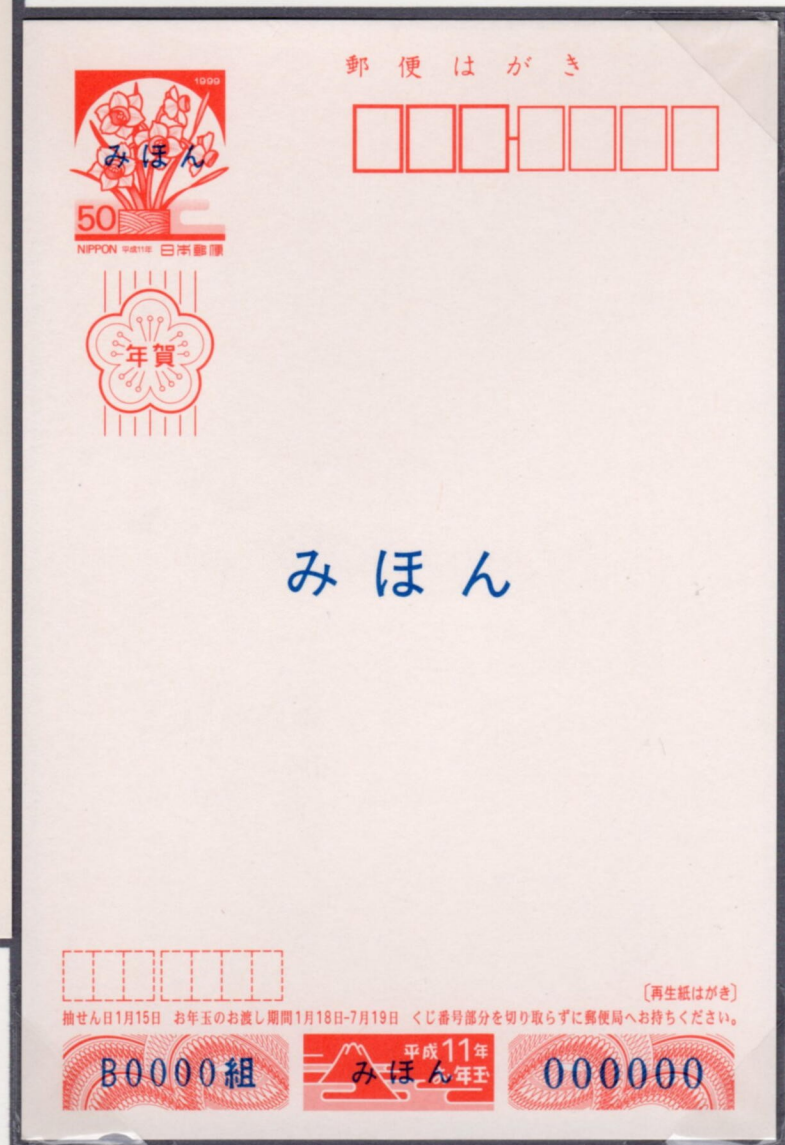
1993(平成5)年用年賀はがき  
 1992(平成4).11.2  
 初日印、東京中央、小型印  
 '93年賀発売記念チョウゲンボウ展

1994(平成6)年用年賀はがき  
 1993(平成5).11.1  
 みほん

年賀はがき(2)



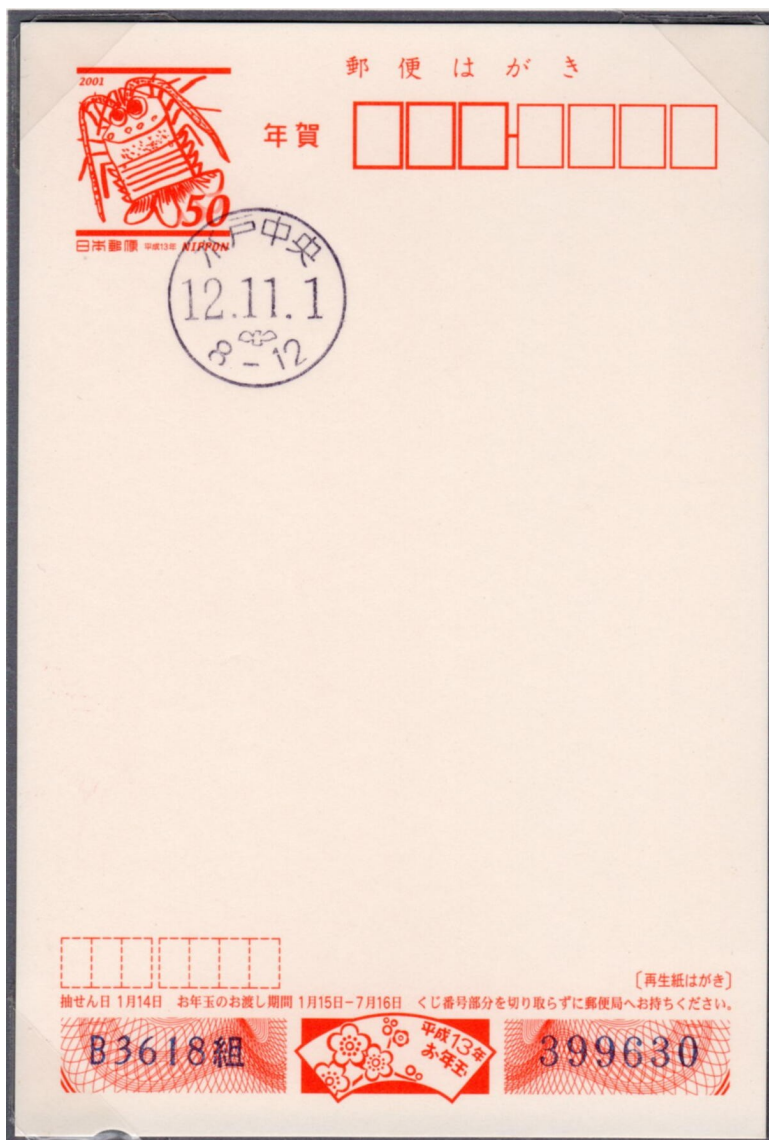
1997(平成9)年用年賀はがき  
1996(平成8).11.1  
横浜中央、年賀印



1999(平成11)年用年賀はがき  
1998(平成10).11.2  
みほん



年賀はがき(3)

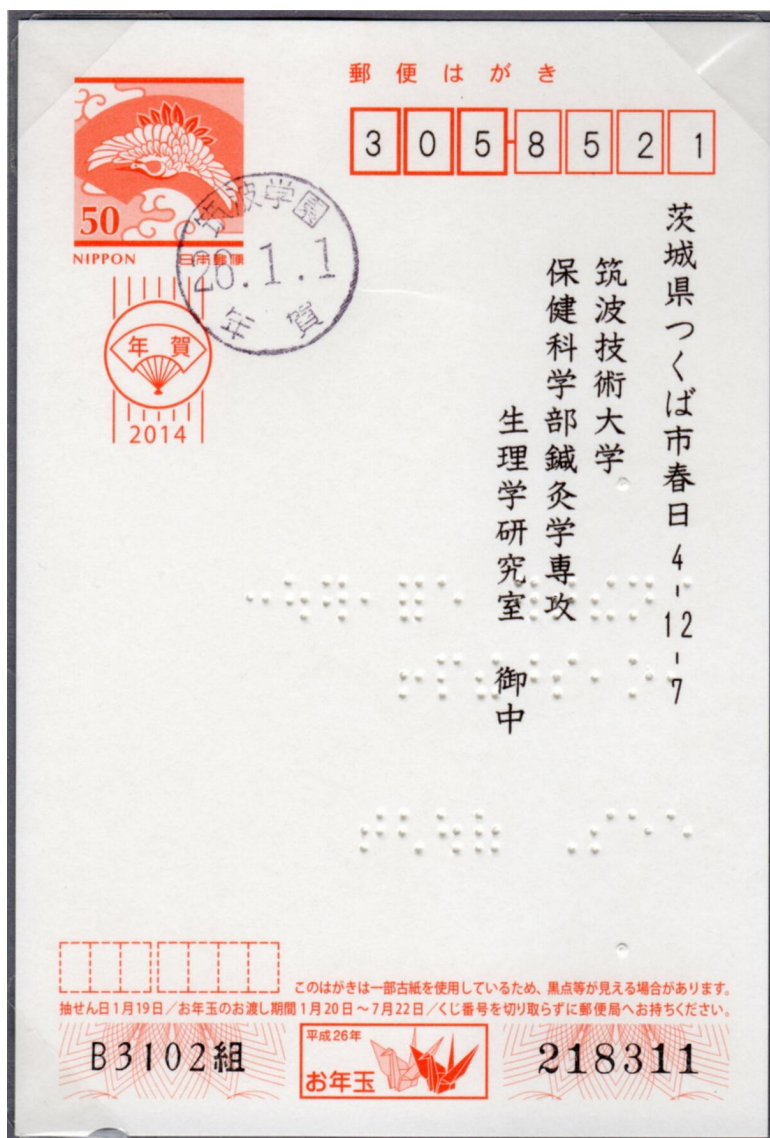


2001(平成13)年用年賀はがき  
2000(平成12).11.1  
水戸中央、初日印



2002(平成14)年用年賀はがき  
2001(平成13).11.1  
みほん

年賀はがき(4)



2014(平成26)年用年賀はがき  
筑波学園、年賀印  
点字使用例

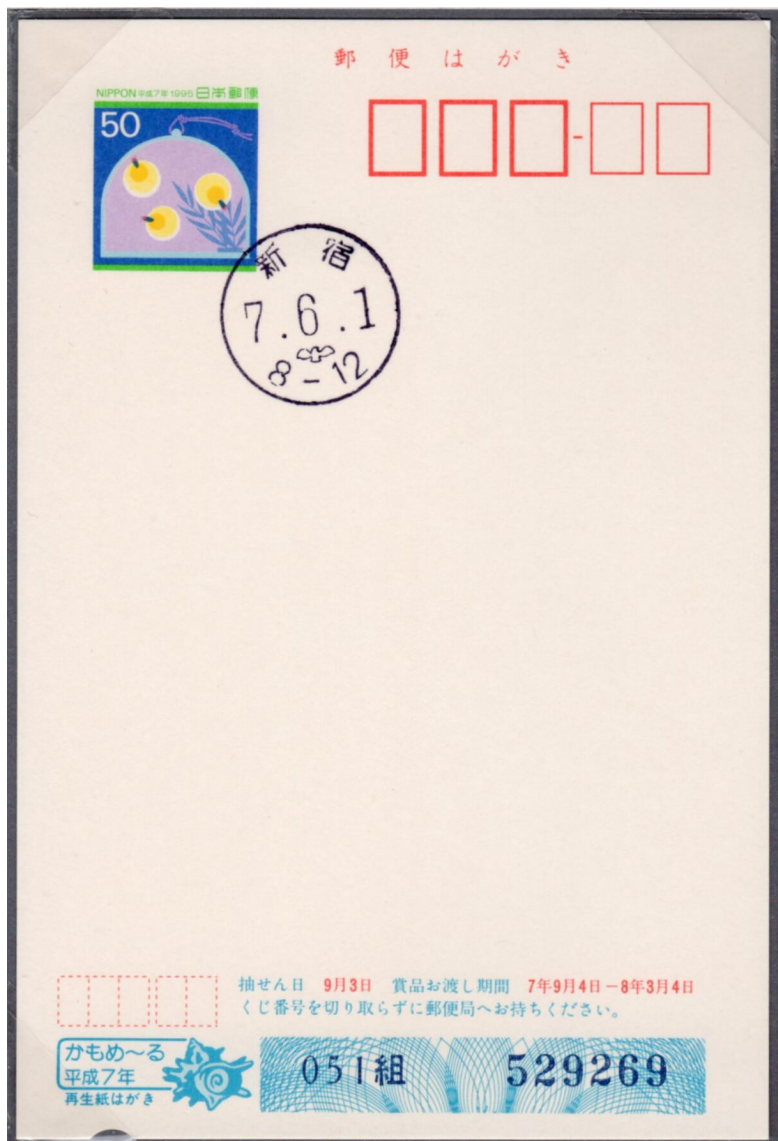


2015(平成27)年用年賀はがき  
筑波学園、年賀印  
点字使用例

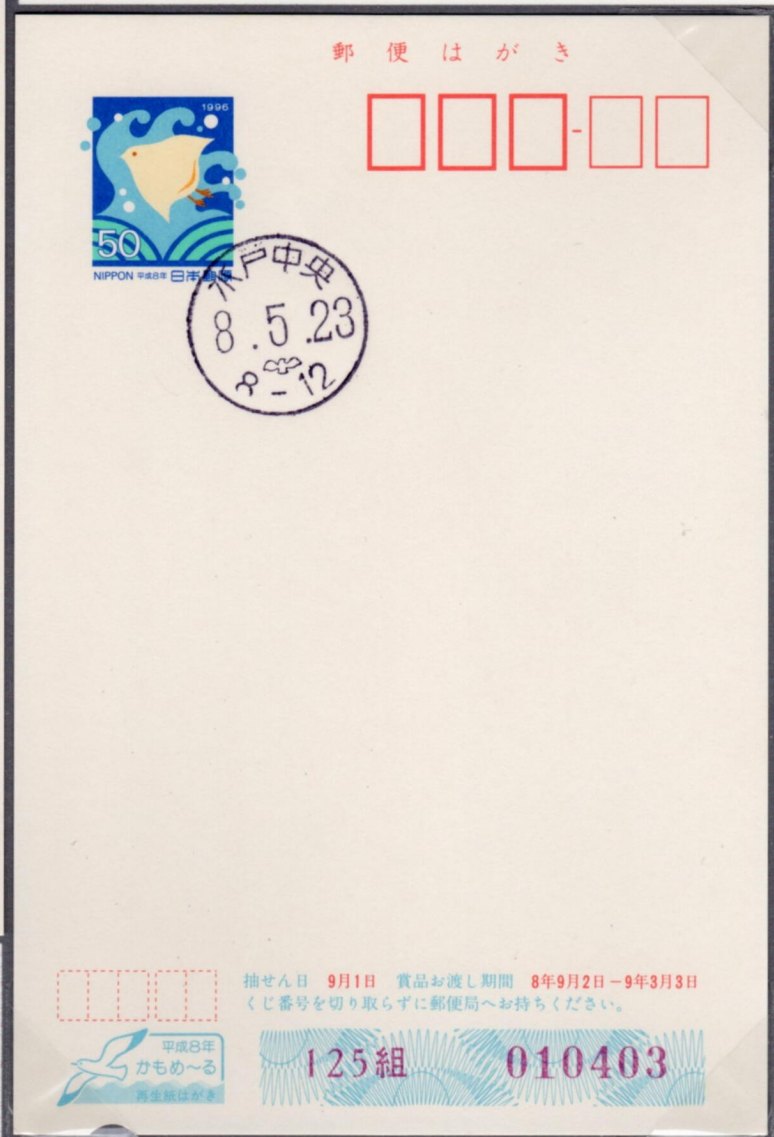


かもめーる(1)

かもめーる(暑中見舞いはがき)は1995(平成7)年より、くぼみ入りはがきが登場した。



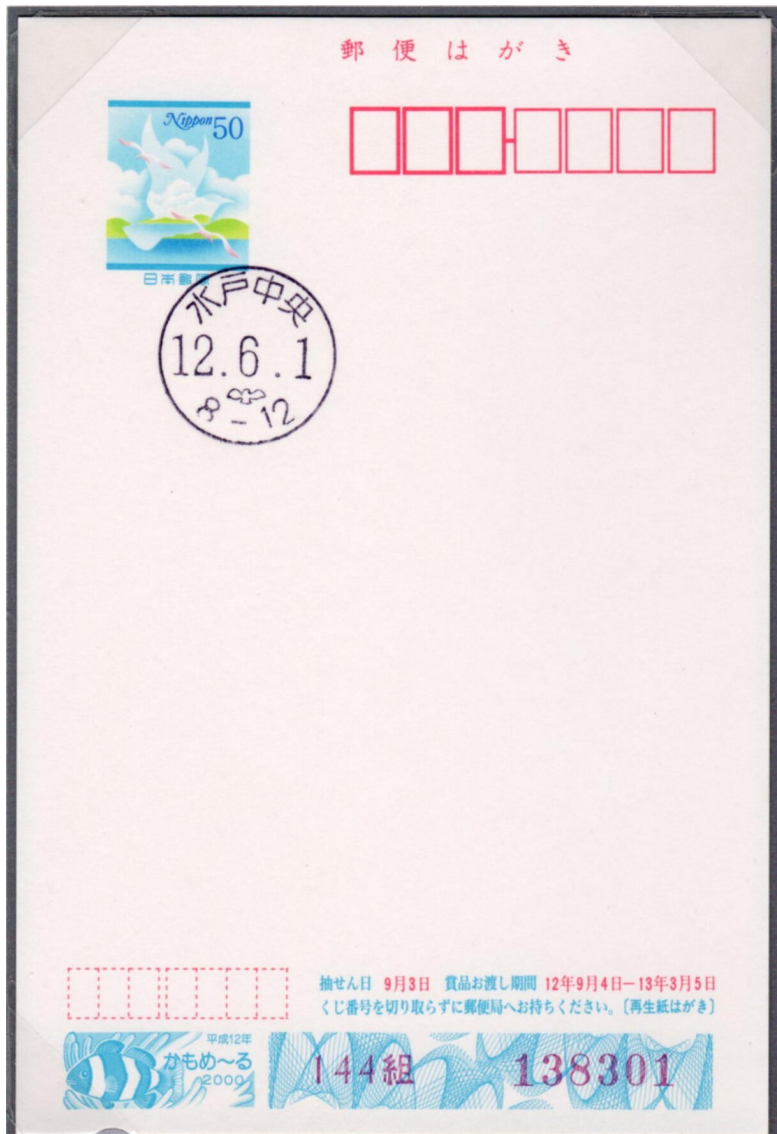
1995(平成7).6.1  
新宿、初日印



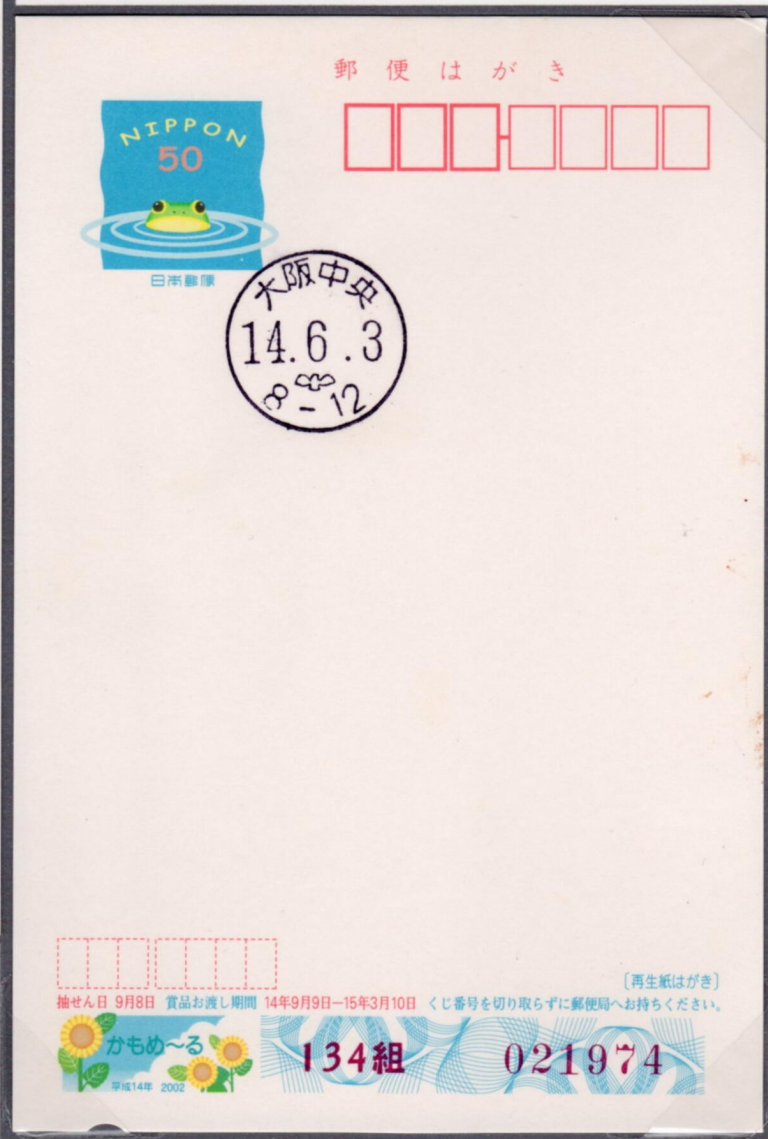
1996(平成8).5.23  
水戸中央、初日印



かもめ〜る(2)

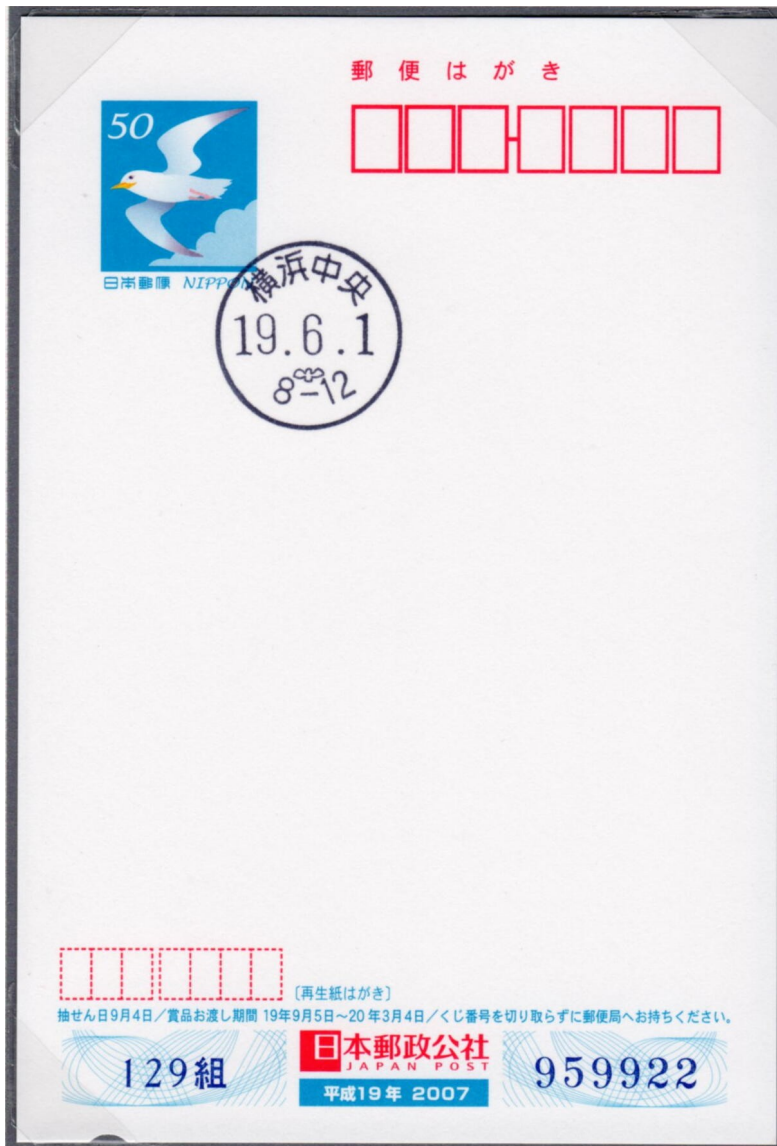


2000(平成12).6.1  
水戸中央、初日印

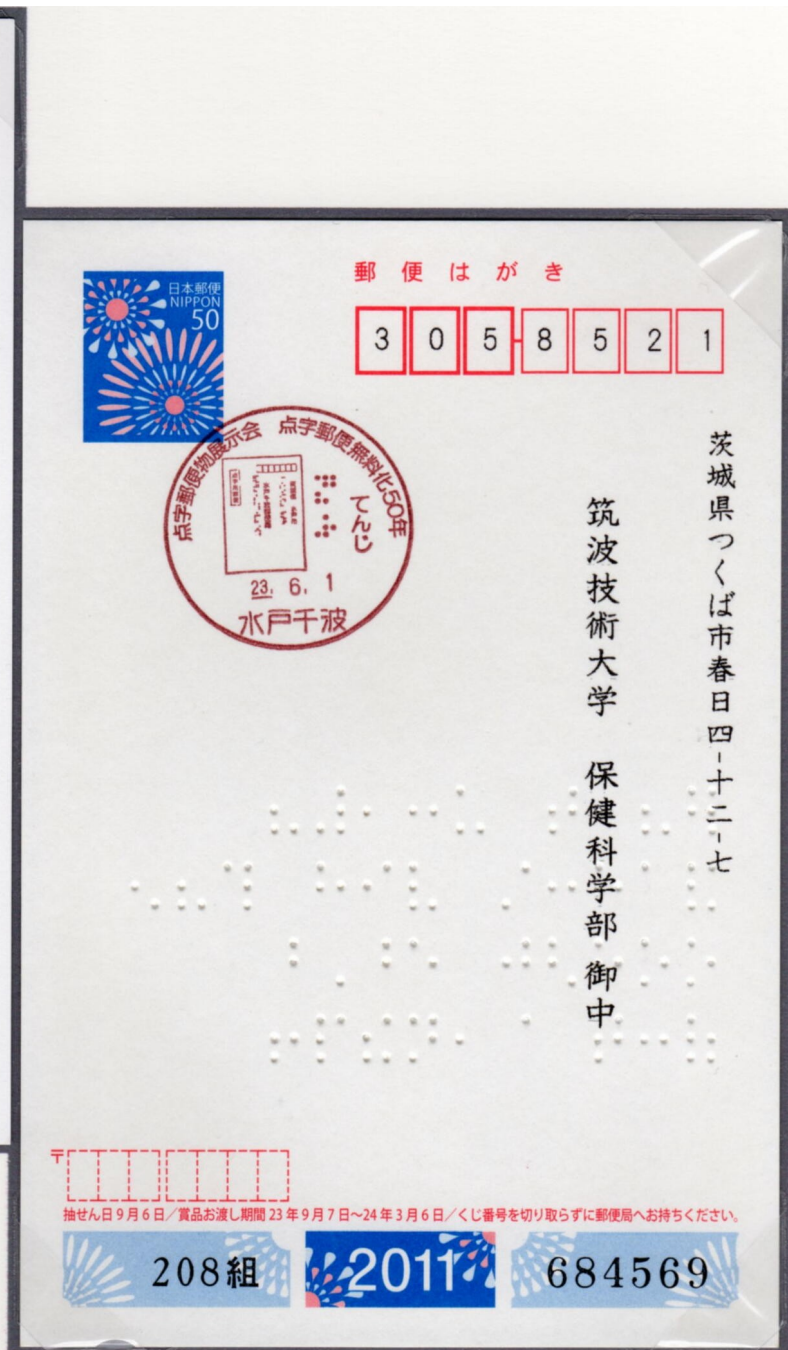


2002(平成14).6.3  
大阪中央、初日印

かもめーる(3)



2007(平成19).6.1  
横浜中央、初日印

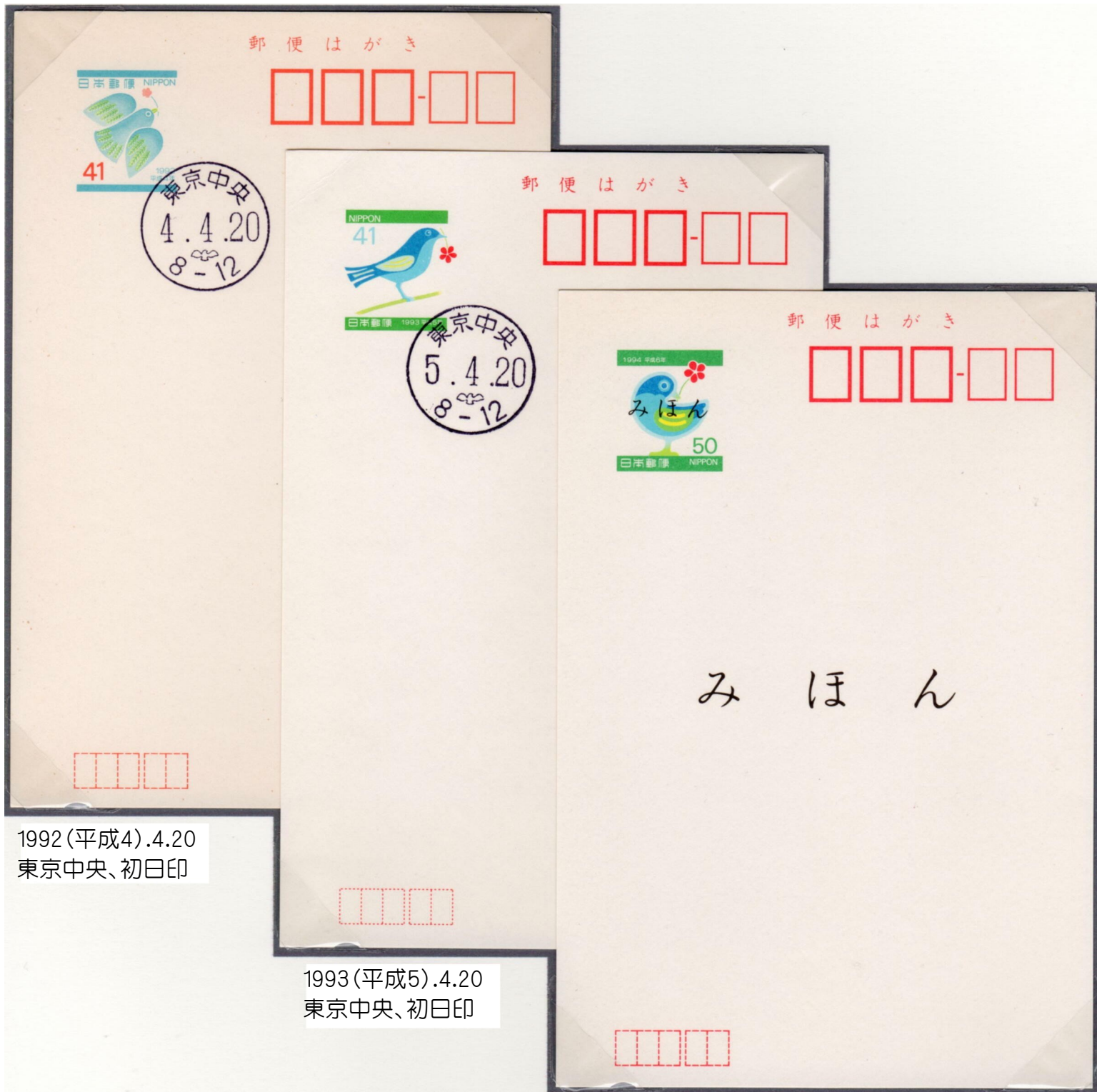


2011(平成14).6.1  
水戸千波、初日印  
小型印:点字郵便無料化50年  
点字使用例



## 青い鳥はがき(1)

青い鳥はがき(身体障害者福祉強調はがき)は1976(昭和51)年より毎年4月に発行された。1991(平成3)年よりくぼみ入りはがきも発行され、1998(平成10)年以降は全部がくぼみ入りとなった。2001(平成13)年を最後に発行が中止され、代わりにくぼみ入りの普通はがきが、オリジナルの青い封筒に入れられ、「青い鳥はがき」として無償配布されることになった。



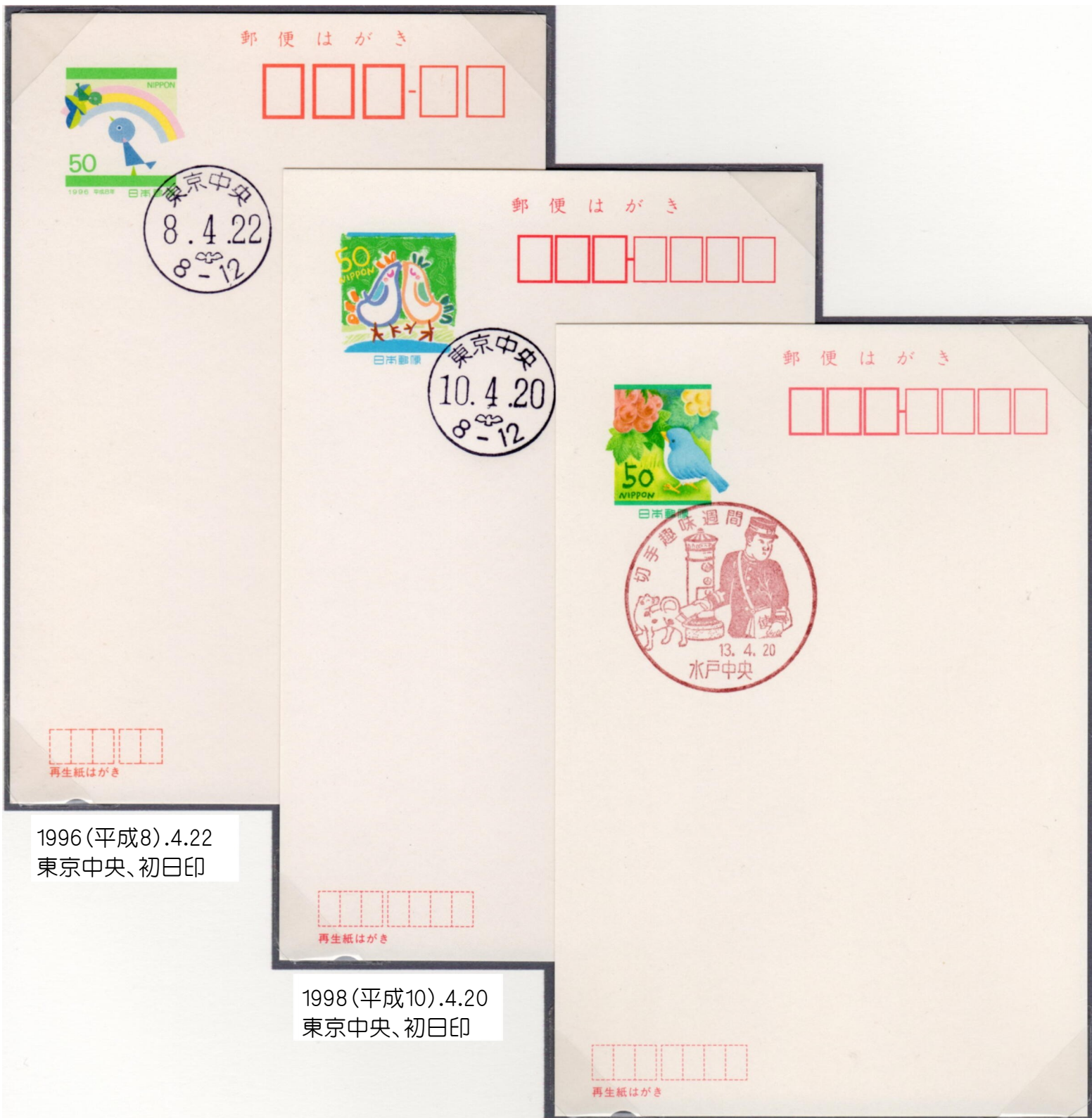
1992(平成4).4.20  
東京中央、初日印

1993(平成5).4.20  
東京中央、初日印

1994(平成6).4.20、みほん



青い鳥はがき(2)

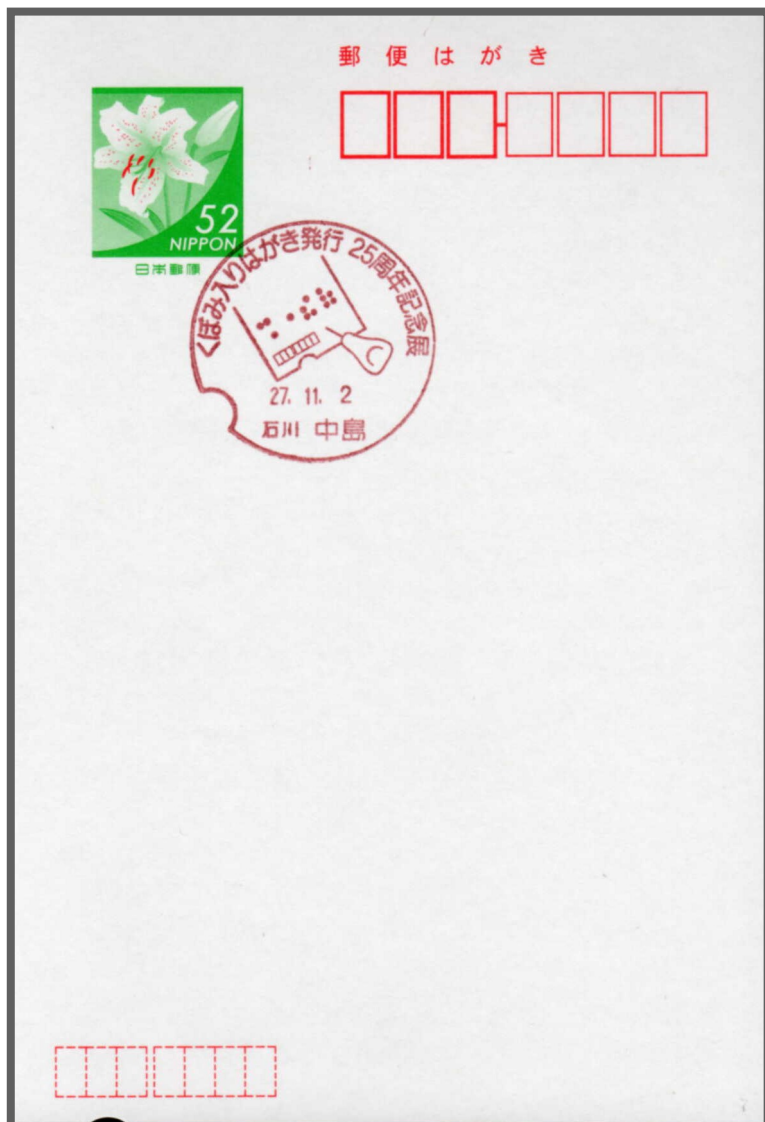


1996(平成8).4.22  
東京中央、初日印

1998(平成10).4.20  
東京中央、初日印

2001(平成13).4.20、水戸中央、初日印  
切手趣味週間の特印  
最後の青い鳥はがき

くぼみ入りはがき発行25周年記念展



くぼみ入りはがき発行25周年記念展を以下のよう  
に開催した。

場所:中島郵便局(石川県七尾市)

期間:平成27(2015)年11月2日~13日

小型印が使用された。

使用期間:2015年11月2日~13日

意匠:くぼみ入りはがきに「くぼみ」の文字を点字  
で記載し、点字の筆記具(点筆)を配した。小型印  
左下に半円形のくぼみを入れた変型印である。  
意匠デザイン:大沢知子

左:くぼみ入りはがきに小型印を押印した。  
中島局、平成27年11月2日(初日印)

下段:「日本の点字制定100周年」の初日カバー  
(平成2年11月1日発行)に「くぼみ入りはがき発行  
25周年記念展」の小型印(初日印)を押印した。

